

## 平成23年11月教育委員会会議の要旨

### 報 告

#### ◆ 村上委員長から、周南市立の小学校児童転落事故事案について、その概要と県教委の対応状況の報告を求められた

- 11月22日、周南市立の小学校児童が体育館に入館し、天井裏へ続く点検用タラップから天井裏に上がろうとして、そのうちの1名が天井板を踏み抜き、ステージに落下した。
- 事故発生直後、周南市教育委員会からの連絡を受け、緊急対応について支援を行うとともに、周南市教育委員会と連携し、臨床心理士を派遣し、継続的に支援を行っている。
- 学校内の転落事故防止の徹底に向け、児童生徒に天窓、屋上及びベランダ等施設の危険性を一層理解させ、危険な行動をとらないように継続的に指導すること、屋上や天井裏等に上がるためのタラップが付いている場所を再度確認し、タラップ近くに台となるものを置かないことや使用禁止などの表示等を行うよう指導・通知した。
- 今回の事故を受けて、さらなる安全の徹底を図り、再発防止に全力で取り組んでいきたい。

#### 【 主な意見 】

- 児童生徒に危険予測を考えさせるよう指導することは、1つの危険事例だけではなく、さまざまな危険事例の発生防止につながると思うので、市町教育委員会に危険予測を考えさせるような指導方法の徹底を伝えてほしい。

## 議 案

議案第1号『平成23年度山口県一般会計補正予算(第3号)についての意見の申出について  
(報告承認)』

### 【概要】

#### 1 補正の趣旨

平成24年に開館100周年を迎える山口博物館において、科学技術の発展をメインテーマとした記念イベントを行う「山口博物館開館100周年記念事業」のうち、平成23年度実施分について必要な補正を行うもの。

#### 2 事業の概要及び見積額

(単位:千円)

事業名	実施期間	内 容	補正額
山口博物館開館 100周年記念事業	3/27 ~ 9/30	科学技術の発展をメインテーマとした記念イベント	
「ロボット大辞典」 及び 「ミュージアムラボ」	3/27 ~ 4/8	○ロボット大辞典 からくり模型や最新人体型ロボットの展示・解説を行い、伝統的な機械仕掛けから最先端の科学技術に至るロボットの進歩の過程を紹介  ○ミュージアムラボ 実験ショーや展示解説、体験学習を通して科学への興味関心を深める。 ・科学戦隊「実験ジャー」による実験ショー ※実験機材を用いた来場者参加型の実験 ・展示物を用いた体験学習 ※剥製・標本を用いた、クイズ形式で行う食物連鎖の学習等	12,000
「山口博物館100年のあゆみ」の展示及び記念誌の発行	3/27 ~ 9/30	・開館初期からの貴重な資料の展示 ・博物館の歴史や収蔵品を掲載した100年誌の発行	500
合 計			12,500

※平成24年度実施分については、当初予算において対応予定

※夏休み期間中には、「山口博物館開館100周年記念事業」の一環として鉄道の歴史と魅力を紹介する企画展を開催予定

## 【概要】

### 1 点検・評価の概要

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第27条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、学識経験者の知見を活用しながら点検・評価を行い、その報告書を議会に提出して、公表することが義務づけられており、法の規定に基づき実施するもの。
- 教育委員会の活動状況と山口県教育ビジョン 第3期重点プロジェクト推進計画の施策体系に基づいた事務事業の実施状況の2点を対象に、教育委員会独自に実施。

### 2 教育委員会の活動状況

- 平成22年度は22回の教育委員会会議等を開催し、議案、報告、協議、合計110の案件を扱った。
- 会議中や会議の場以外でも公安委員等と、合計10回の意見交換を行った。
- 県内視察として、16校の学校を訪問し、授業参観や教員等と協議を行うとともに、5施設の青少年施設を訪問した。
- 教育委員会の初めての取組として、教員との座談会を実施した。
- 総括としては以下のとおり。
  - ・ 教育委員会会議における議案審議や協議を行う中で、本県の教育行政の基本方針である「山口県教育ビジョン第3期重点プロジェクト推進計画」等を策定し、施策の方向性を決定した。
  - ・ 活発な意見交換や教育現場の視察、教員との座談会等の実施により、地域の声や、教育現場の実態の把握に努めた。
  - ・ 今後とも、教育現場や地域の実情に応じた教育行政の推進ため、さらなる取組の充実が必要である。

### 3 教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価

- 第3期重点プロジェクト推進計画に掲げた10の重点プロジェクトごとに、各重点プロジェクトの重点取組事項の進捗状況と夢チャレンジ指標の達成状況を一つずつ点検し、それらを総合して各重点プロジェクトの評価を行った。
- 重点取組事項の進捗状況は、『取組は順調』、『一部に課題はあるが、おおむね順調』、『課題あり』の3段階で表し、夢チャレンジ指標の達成状況も、『達成済み』、『目標値に向けおおむね順調』、『目標達成に向けて加速化が必要』という3段階で表した。

進捗状況と達成状況の点検結果を評価表に当てはめ、各重点プロジェクトについては、『順調』、『一部に課題はあるが、おおむね順調』、『取組の改善・強化が必要』の3段階評価を行った。
- 評価は、定量的な点検である夢チャレンジ指標の達成状況に重きを置いた。
- 今年度は、平成21年度からの重点プロジェクトの評価を追加記載し、各プロジェクトの進捗・改善の経年変化を確認した。

## <各重点プロジェクトの評価>

### 1 自立する力育成プロジェクト

【評価】：一部に課題はあるが概ね順調

#### 《プロジェクトの概要》

- ・ 新しい学習指導要領を踏まえた教育内容の充実、自己にふさわしい生き方を実現しようとする意欲や態度、自主的な進路選択ができる能力を育成し、将来、社会の一員として、自立してたくましく生きる力を育てる。

#### 《点検評価結果》

- ・ 重点取組事項の進捗状況、夢チャレンジ指標ともに、点検の結果はbであり、重点プロジェクトの評価結果は、一部に課題はあるが概ね順調とした。
- ・ 今後も、引き続き、発達段階に応じた系統的・計画的なキャリア教育の支援に努め、就職支援や進路指導を充実させるとともに、新学習指導要領の実施に向け、教材の整備の促進を図る必要がある。

### 2 確かな学力育成プロジェクト

【評価】：一部に課題はあるが概ね順調

#### 《プロジェクトの概要》

- ・ 基礎的、基本的な知識・技能の習得や課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、学習意欲等の育成を図る。

#### 《点検評価結果》

- ・ 重点取組事項、夢チャレンジ指標ともにbであり、重点プロジェクトの評価結果は、一部に課題はあるが概ね順調とした。
- ・ 今後は、子どもたち一人ひとりの「確かな学力」の定着・向上を図るため、取組を継続するとともに、「家庭教育の指針」の認知度の向上など、家庭への啓発をさらに図っていく必要がある。

### 3 思いやりのある豊かな心育成プロジェクト

【評価】：一部に課題はあるが概ね順調

#### 《プロジェクトの概要》

- ・ お互いを尊重し合う心や思いやりの心、善悪を判断する力や社会のルールを身につけるなど、豊かな人間関係を築く力をはぐくむ。

#### 《点検評価結果》

- ・ 重点取組事項、夢チャレンジ指標の達成状況ともにbで、重点プロジェクトの評価は一部に課題はあるが概ね順調とした。
- ・ 今後は、ボランティア活動を実施している学校の割合のさらなる改善や道德授業のない高校における視聴覚資料等を活用した道德教育の推進、体験活動の充実に向けた活動メニューの拡充等を図る必要がある。

### 4 子ども元気創造推進プロジェクト

【評価】：取組の改善・強化が必要

### 《プロジェクトの概要》

- ・ 遊び、スポーツ、食育、読書を一体的に取り組むなど、子どもたちの心と体の元気を創造し、知・徳・体の調和のとれた生きる力を育てる。

### 《点検評価結果》

- ・ 重点取組事項の進捗状況はbであるが、夢チャレンジ指標の状況は、体育以外に毎日30分以上運動している児童生徒の割合、毎日朝食を摂っている児童生徒の割合、米飯給食を週3回以上実施している学校の割合、学校給食における地場産物の使用割合及び学校以外で月に1冊以上読書をしている児童生徒の割合が目標に比べ伸びていないため、点検結果はcとなり、この重点プロジェクトの評価は取組の改善・強化が必要とした。
- ・ 今後も、地域や家庭における運動習慣や読書習慣の定着に向け、作成した教材の活用など保護者等への普及・啓発を図る必要がある。

## 5 きめ細かな指導体制づくり推進プロジェクト

【評価】：一部に課題はあるが概ね順調

### 《プロジェクトの概要》

- ・ 子どもたちの発達段階に応じ、一人ひとりが抱える様々な教育課題に適切に対応できるよう、きめ細やかな指導体制づくりを推進する。

### 《点検評価結果》

- ・ 重点取組事項の進捗状況、夢チャレンジ指標の達成状況ともに、点検結果はbであり、評価は一部に課題はあるが概ね順調とした。
- ・ 今後も、取組を引き続き推進・強化するとともに、学校間の連携を進める必要がある。
- ・ なお、教職員の資質能力の向上については、研修制度の充実や評価制度の改善の推進、優れた人材の確保等に引き続き取り組んでおり、きめ細やかな指導体制づくりについては、35人学級化の実施が有効である。

## 6 学校の安心・安全と活力推進プロジェクト

【評価】：一部に課題はあるが概ね順調

### 《プロジェクトの概要》

- ・ 学校の耐震化など安心・安全な教育環境づくりに取り組むとともに、学校の運営体制や指導体制等の充実を図り、活力ある学校づくりを進める。

### 《点検評価結果》

- ・ 重点取組事項の進捗状況、夢チャレンジ指標の達成状況ともにbとなっており、重点プロジェクトの評価は、一部に課題はあるが概ね順調とした。
- ・ 県立学校の施設耐震化は、目標を1年前倒しし、平成23年度末までに耐震化率90%以上を達成するよう、取組を加速化させ、市町立学校についても、市町の実情に応じたきめ細やかな指導・助言を行い、一層の加速化が必要である。

## 7 県民総参加による教育推進プロジェクト

【評価】：一部に課題はあるが概ね順調

### 《プロジェクトの概要》

- ・ 地域社会が教育活動に積極的に参加できる体制の構築により、社会全体の教育の向上に取り組むとともに、生涯学び続けることができる環境づくりを進める。

### 《点検評価結果》

- ・ 重点取組事項、夢チャレンジ指標ともに点検結果はbで、評価は一部に課題はあるが概ね順調とした。
- ・ 地域の人材を養成、活用し、地域ぐるみで子どもの育ちを支える取組を進める必要があるとともに、平成25年開催の日本ジャンボリー、平成27年開催の世界スカウトジャンボリーの円滑な開催に向け、組織体制づくりやプログラム作成等の開催準備を支援する必要がある。

## 8 家庭教育応援プロジェクト

【評価】：一部に課題があるが概ね順調

### 《プロジェクトの概要》

- ・ 基本的な生活習慣、倫理観や社会性等が身につくよう、家庭教育力の向上を図る。

### 《点検評価結果》

- ・ 重点取組事項、夢チャレンジ指標ともに点検結果はbで、評価は一部に課題があるが概ね順調とした。
- ・ 今後は、「家庭教育の指針」の認知度をあげ、家庭教育力の向上の意識啓発を図るとともに、おやじの会の設置の促進や家庭教育アドバイザー養成講座修了者の増加、地域子育て支援センターの設置など関連指標の目標値達成に向け、テレビ家庭教育番組の内容の見直しとともに、一層の取組の加速化が必要である。

## 9 文化にふれあい文化に親しむ環境づくり推進プロジェクト

【評価】：一部に課題があるが概ね順調

### 《プロジェクトの概要》

- ・ 優れた文化にふれあう機会の充実を図るとともに、多彩な文化財や伝統・文化の保存・継承と活用の促進を図る。

### 《点検評価結果》

- ・ 重点取組事項の進捗状況、夢チャレンジ指標はとともにbであり、評価は一部に課題があるが概ね順調とした。
- ・ 今後は、文化財への関心が比較的低い若年層に向けた取組を、一層進める必要がある。

## 10 『おいでませ！山口国体』等を契機とした県民スポーツ振興プロジェクト

【評価】：一部に課題はあるが概ね順調

### 《プロジェクトの概要》

- ・ 「おいでませ！山口国体」等を契機とした競技力の向上や学校体育・スポーツの充実、豊かなスポーツライフの推進など、県民スポーツの総合的な振興を図る。

### 《点検評価結果》

- ・ 平成22年度は国体の開催を翌年に控え、選手の育成強化や指導者の育成確保、スポーツ拠点施設の整備等が順調に推移したことから、重点取組事項の進捗状況はaであるが、夢チャレンジ指標の達成状況は、総合型スポーツクラブの設置数や公認スポーツ指導者数の増加状況からbとなり、評価は一部に改善があるが概ね順調とした。
- ・ 今後は、山口国体・山口大会で得られた成果を発展・継承するため、高い競技水準の維持・定着を図るとともに、県民がスポーツに親しみ、心身ともに健康に暮らす生涯スポーツ社会の実現につなげていけるよう、推進体制や地域に根ざしたスポーツの取組を促進し、スポーツを通じた地域づくりや優れた指導者による競技力の維持・定着についても進める必要がある。

### ＜外部有識者の知見の活用＞

- ・ 11月16日に教育、医療、経済界、PTAなど各分野で教育に携われる専門家で構成する山口県教育振興推進会議を開催した。

### 《主な意見》

- ・ 夢チャレンジ指標を用いた選定、目標値の設定理由、根拠が不明であるとともに、目標を達成する期間、各年度の目標値の設定方法が不明であるため、その評価基準を明確にする必要がある。
- ・ 人口減少時代において、山口県の特色ある取組が必要ではないか。

## 【 質 疑 】

質問) 山口県教育振興推進会議において問題点の指摘などはあったか。

回答) 山口県教育振興推進会議では、各プロジェクトを点検する指標のとり方や、指標を用いてどのような評価がされるのかなどの指摘があった。そのため、本議案説明では、夢の実現チャレンジプランに基づいて、教育委員会の事務事業の評価・点検を行っていることを説明として加えた。

## 【 主な意見 】

- 点検・評価の結果をどのように生かしていくかが重要であり、夢の実現チャレンジプランに基づき、本県の教育が目指す目標である「一人ひとりの夢の実現」に向けて、力を合わせてしっかりと取り組んでいきたい。
- 教育委員として、教育現場の視察、地域住民の教育に対する要望、意見を謙虚に聞く耳を持ち、少しでも教育委員会会議に反映した形で努めて行くことを改めて思う。

## 議案第3号 『文化財の県指定について』

### 【概要】

山口県文化財保護条例（昭和40年山口県条例第10号）第4条第1項の規定に基づき、以下の文化財を山口県指定有形文化財に指定するもの。

### 有形文化財（建造物）

名称	所在の場所	所有者
観察院五輪塔	下関市富任町八丁目419番	観察院

## 議案第4号 『山口県教育委員会表彰規則による表彰について（報告承認）』

### 【概要】

萩市立弥富小学校 <sup>すごう</sup>須郷 <sup>くにひこ</sup>邦彦の死亡退職に伴い、教育長が臨時に代理して永年精勤として表彰したことを報告し、承認された。

## 報告事項

◆『平成23年度人事委員会報告の概要』について報告された。

### 【概要】

#### 第1 給与についての報告

##### 1 公民給与の比較

###### (1) 月定例

本年4月時点における民間給与と職員（行政職）給与との格差は次のとおりとなっている。

民間給与 (A)	職員給与 (B)	公民格差 (A) - (B)
376,543円	376,288円	255円 (0.07%)

###### (2) 特別給

昨年8月から本年7月までの1年間において、民間事業所で支払われた賞与等の特別給の支給額は、その月の平均所定内給与月額の3.98月分



に相当している。

(職員の場合、現行の年間支給割合は、3.95月分である。)

## 2 公民給与の比較

### 本年の給与改定

公民格差、民間の特別給の支給割合及び人事院勧告の内容等を総合勘案し、職員の給与については、以下のとおり判断した。

#### (1) 給料表

本年の民間給与と職員給与の較差がわずかであることから、改定を行わないことが適当である。

#### (2) 期末手当及び勤勉手当

民間の支給割合と概ね均衡していること等から、改定を行わないことが適当である。

## 3 その他の課題

### (1) 高齢層職員の給与

国における制度の見直し内容や今後の検討の状況、さらには、他の都道府県の動向等に十分留意しながら、高齢層職員の給与について、検討を進める必要がある。

### (2) 獣医師の給与の給与

他の都道府県の動向等に十分留意しつつ、初任給調整手当の支給等、獣医師の処遇改善を図る必要がある。

## 第2 勤務環境の整備についての報告

### 1 総実勤務時間の短縮

実情に即した業務処理体制の見直しや事務の簡素・効率化など、実行性のある時間外勤務の縮減に、一層取り組む必要がある。

年次有給休暇の取得は、計画的・連続的な取得を促進するとともに、休暇を取得しやすい職場環境づくりを進めていく必要がある。

### 2 職員の健康管理対策

メンタルヘルスに関する理解を一層深め、ストレスを自覚した場合等に適切に対応することが可能となるよう、今後とも対策に努める必要がある。

### 3 職業生活と家庭生活の両立支援

男性職員の育児休業取得率が低いことから、育児休業を取得しやすい職務環境の整備を図るなど、取得促進に向けた取組を一層充実していく必要がある。

## 第3 人事行政の運営についての報告

### 1 人事評価制度

公正で納得性の高い人事評価制度の定着に向け、さらに取組を進める必要がある。

## 2 人材の確保・育成等

県民ニーズに的確に対応する人材の確保には、職員採用試験の応募者をより多く確保することが有効であるため、各種広報活動などを積極的に行うことにより、公務の魅力を直接伝えるための取組等を一層充実させることが必要である。

専門的能力等の開発や職員の士気の高揚をはじめとした様々な研修や人材育成に留意した人事管理等に努める必要がある。

女性職員の政策・方針決定過程への参画を拡大するなど、その能力が十分に発揮されるよう、登用を推進する必要がある。

## 3 定年の引上げ

定年の引上げに係る諸課題への対応について早急に取り組む必要があるとともに、組織活力と公務能率を確保しながら、職員が職務に専念できる環境を整備することに留意する必要がある。

## 4 公務員倫理

職員研修や職場における指導等を通じた継続的な取組を一層進めていくとともに、綱紀の保持に努め、行政に対する県民の期待と信頼にこたえることが必要である。

◆『平成24年度山口県公立小・中学校及び県立学校教職員人事基本方針』について報告された。

【概要】

平成24年度山口県公立小・中学校及び県立学校教職員人事異動方針

山口県教育委員会

子どもたち一人ひとりの夢の実現のためには、教育改革を着実に推進するとともに、各学校の組織力を強化し、家庭・地域と連携しながら、教育力の向上を図ることが必要である。

このため、各学校において、教職員一人ひとりがそれぞれの資質能力の向上を図り、専門性を発揮しながら、特色ある学校づくり、確かな学力や体力の向上、生徒指導の充実、キャリア教育の推進などの諸課題に組織的かつ適切に対応できるよう、下記の点を踏まえ、厳正に人事の刷新を図り、全県的な視野に立って、適材を適所に配置する。

記

1 各学校の教職員については、専門性、年齢、性別、現任校の勤務年数等の観点から検討し、適切な配置を進める。

なお、同一校勤務が、小・中学校においては7年、県立学校においては10年（小・中学校採用者は7年）を超える者については、原則として異動を行う。

2 校長、教頭等の管理職の採用・昇任に当たっては、年功序列にとらわれず、多様な教職経験を有する者で、教育目標の実現に積極的に取り組み、活力ある学校運営を行うとともに、教職員の資質能力の向上のために指導力を発揮することができる人材を選任する。

3 新規採用者については、学校や地域の状況等を踏まえ、計画的な配置を行う。

4 地域間、小・中・高等学校と特別支援学校間等の人事交流を推進する。

特に、小・中学校においては、地域間及び規模の異なる学校間の交流を、また、高等学校においては、全日制・定時制・通信制課程間、普通科・専門学科・総合学科高校間及び普通科高校の地域間の交流を、さらに、特別支援学校においては、特別支援学校間及び小・中・高等学校等との交流を積極的に行う。

## 【 質 疑 】

質問) 新規採用教員はへき地の学校や特別支援学校等に配置するのか。

回答) 新規採用教員は、その育成にふさわしい学校に配置することを進めているため、必ずしもへき地の学校や特別支援学校に配置することはない。

質問) 教員は、へき地の学校や特別支援学校等に一度は配置するのか。

回答) 特に定めはない。但し、大規模学校、へき地の学校及び総合支援学校など様々な学校で勤務を経験することは、教員の資質能力の向上をさせるという面では、今後積極的に進めて行きたいと考えている。

### ◆『平成24年度山口県公立高等学校等入学者選抜実施要領』について報告された。

#### 【概要】

##### ◇第一次募集

- ・ 志願登録の期間 2月13日(月) から2月16日(木) 午前10時まで
- ・ 出 願 の 期 間 2月21日(火) から2月24日(金) 午前10時まで
- ・ 学 力 検 査 3月 8日(火)
- ・ 選抜結果の発表 3月15日(火) 午前10時

##### ◇昨年度との変更点

障害のある者のうち、志願する志望者は、自己申告書を、中学校長を經由して、高等学校長に提出することができる。

##### ◇推薦入学

《実施学校、学科及び募集人員》

- ・ 推薦入学は、全日制課程において実施する。
- ・ 推薦入学を実施する際の募集人員は、次の表のとおりとし、この範囲内で高等学校長が定める。

実施学科・コース	募集人員
すべての学科・コース (普通科体育コースを除く)	入学定員の50%以内
普通科体育コース	入学定員の75%以内

- ・ 出 願 の 期 間 1月27日(金) から2月 2日(水) 午前10時まで
- ・ 面接等の実施日 2月 8日(水)
- ・ 選抜結果の通知 2月16日(木) 午前10時に中学校長及び本人に通知

##### ◇連携型中高一貫教育に係る入学者選抜

《実施学校及び募集人員》

山口県立周防大島高校(普通科・福祉科)、山口県立美祢高校

- ・ 出 願 の 期 間 1月27日(金) から2月1日(水) 午前10時まで

- ・面接及び小論文の実施日 2月 8日 (水)
- ・選 抜 結 果 の 通 知 2月16日 (木) 午前10時以降に中学校長及び本人に通知

#### ◇第二次募集

《実施学校・学科及び募集人員》

3月15日 (火) に県教育委員会が発表する。

- ・出願の期間
  - 全日制課程 3月16日 (金) ～3月21日 (水) 午後2時まで
  - 定時制課程 3月16日 (金) ～3月26日 (月) 正午まで
- ・面接等の実施日
  - 全日制課程 3月22日 (木)
  - 定時制課程 3月27日 (火)
- ・選抜結果の発表
  - 全日制課程 3月23日 (金) 正午
  - 定時制課程 3月28日 (水) 正午

◆『夢をはぐくむ家庭の元気(幼児期版)』について報告された。

【概要】

「夢をはぐくむ家庭の元気(幼児期版)」について

1 趣 旨

家庭の教育力の低下が大きな課題となっている中、子どもたちの「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を育むために、家庭に対する積極的な支援として、幼児期の子どもをもつ保護者を対象とした取組の指針となるものを作成し、実践を促進する。

2 検討経過

平成22年6月に、「夢をはぐくむ家庭の元気」(小中学生の保護者対象)を作成。幼児期の家庭教育の重要性を踏まえ、幼児期版の作成について検討し、平成23年5月より組織を立ち上げ、作業を開始した。

「子育て支援連携推進委員会」による検討 (6/8、8/19、11/8 3回開催)

学識経験者、PTA関係者、幼稚園・保育所関係者、子育て支援団体関係者、市町教育委員会関係者等13名で構成。また、委員会の下に、8名による作業チームを編成。(6/16、7/5、7/25、9/12、10/12 5回開催)

その他の教育関係会議における意見聴取

教育委員会会議(8月)、県社会教育委員の会議、県教育振興推進会議等

3 指針の概要

(1) 名 称 「夢をはぐくむ家庭の元気(幼児期版)」  
～子どものすこやかな成長に向けて～

(2) 構 成 リーフレット A4・カラー・両面、6ページ  
概要版 A3・カラー・片面、1ページ

(3) ポイント

- ①親子で生活を振り返りながら、取り組める工夫をした。
- ②家庭において身に付けることが大切な生活習慣など、5つのポイントに整理した。
- ③実践内容や参考例等を具体的に示すとともに、継続的に取り組めるよう概要版を作成した。

(4) 配布対象 2歳～小学校就学前の子どもをもつ保護者、幼稚園、保育所、小学校、産婦人科医院、子育て支援センター、その他関係組織・関係団体等

(5) 作成部数 150,000部

4 今後の予定

- ・デザイン・印刷の業務委託先の選定(平成23年12月)
- ・印刷完了(平成24年3月)
- ・配布(平成24年4～6月)

## 【 質 疑 】

質問) 配布時期は、平成24年4月から6月を予定されているが、その後も定期的に配布するのか。

回答) 次年度は、対象時期の子どもをもつ家庭へ行き渡るよう配布するが、その後はホームページへの掲載や概要版の配布を検討する。

質問) 家庭への具体的な配布方法は、どのようなことを考えているか。

回答) 母子保健推進員を通じて配布を考えている。

質問) リーフレットはホームページから誰でも入手・活用することができるのか。

回答) 社会教育・文化財課のホームページに掲載予定であり、誰でも入手・活用ができる。

## 【 主な意見 】

○ 1歳半で受診する健康診断など子どもを持つ家庭に配布できる機会を利用することが、対象家庭へリーフレットが行き渡るのではないか。

### ◆『山口国体・山口大会後のスポーツの推進』について報告された。

#### 【概要】

#### 山口国体・山口大会後スポーツの推進について

##### 1 基本的な考え方

山口国体・山口大会の開催を契機とした、幅広いスポーツの人材の育成・確保や高い競技力、スポーツに対する県民の関心の高まりなどの成果を本県の大切な財産として継承・発展させるため、スポーツ推進条例及び戦略プランを策定し、計画的・総合的に今後のスポーツ施策の推進を図る。

##### 2 条例の制定及び戦略プランの策定

###### (1) 条例の制定

[名 称] 山口県スポーツ推進条例

[制定目的] 本県におけるスポーツ推進の基本理念を示す

[制定時期] 平成24年3月

###### (2) 戦略プランの策定

[名 称] 山口県スポーツ戦略プラン

[制定目的] スポーツ推進施策の方向性を示す

[制定時期] 平成24年3月 → 新年度予算における施策に反映

※実行計画（山口県スポーツ推進計画）を24年度中に策定予定

##### 3 推進体制の整備

山口県スポーツ交流・元気県づくり推進本部の設置

関係部局間の連絡調整によるスポーツ施策の計画的・総合的な推進

・ 条例、プラン案の検討

・ スポーツ推進計画の検討（平成24年度） 等

#### 4 施策の推進

戦略プランに掲げる「3つの戦略」のもとに、「9の取組」を設定し、各戦略を積極的に推進。

##### 【今後のスケジュール】

〈平成23年〉

- 1月18日・・・・・・第1回推進本部会議  
《協議》条例の骨子案、戦略プランの骨子案
- 12月中旬・・・・・・県議会（委員会）報告

↑  
パブリック・コメント  
↓

〈平成24年〉

- 1月下旬・・・・・・第2回推進本部会議  
《協議》条例の最終案、戦略プランの最終案
- 2月下旬・・・・・・スポーツ推進条例（案）の県議会上程

#### ◆山口県スポーツ推進条例（骨子）について

##### 1 基本的な考え方

山口国体・山口大会により高まった競技力や培われた幅広い人材、充実したスポーツ環境等の成果を一過性に終わらせることなく、時代に継承し、本県の貴重な財産として活用するため、県の施策推進の基盤となる条例を制定し、総合的かつ長期多岐にスポーツに関連する施策の推進を図る。

##### 2 条例の構成及び主な内容

###### （1）前文

- ・「スポーツ」の意義や効果について規定
- ・両大会の成果の継承・発展を決意

###### （2）総則

- ・県が主体的にスポーツ施策を推進することを明記
- ・障害者スポーツの推進を明記

###### （3）基本的施策

- ・スポーツを「する」「みる」「ささえる」視点からの県民運動の促進
- ・スポーツ推進月間の創設
- ・スポーツを通じた地域づくりの推進

#### ◆山口県スポーツ戦略プラン（骨子）について

##### 1 基本的な考え方

山口県スポーツ推進条例に示される基本理念等を踏まえ、施策の方向性（戦略、取組）を示す。

##### 2 戦略プランの概要容

###### （1）戦略プランの目指す姿

- ・スポーツの推進を通じた県民力・地域力の発揮による「スポーツ元気県やまぐち」の実現



## (2) 施策の方向

### (ア) 競技スポーツ推進戦略

- ・スポーツ選手の計画的な育成
- ・競技環境の整備
- ・スポーツ医・科学の活用

### (イ) 生涯スポーツ推進戦略

- ・生涯スポーツ、健康及び体力づくりの推進
- ・障害者スポーツの推進
- ・子どもの体力の向上及び学校体育等の充実

### (ウ) スポーツ環境整備戦略

- ・スポーツを通じた地域づくり、県民運動の促進
- ・スポーツ団体及び企業によるスポーツの促進
- ・施設の整備及び活用

◆『東日本大震災復興支援 第11回全国障害者スポーツ大会「おいでませ！山口大会」競技種別の結果』について報告された。

【概要】

1 参加競技

個人競技：陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ホウリング

団体競技：バスケット、車椅子バスケット、ソフトボール、グラントソフトボール、バレーボール、サッカー、フットベースボール

2 大会成績

出場選手総数	296人	メダル合計	172個
個人競技 出場選手数	142人	メダル計	171個 (金88個、銀54個、銅29個)
団体競技 出場選手数	154人 (12チーム)	メダル計	1個 (銀)

3 県内の中高生及び特別支援学校生徒の競技種別の結果について

	競技名	出場選手数	金	銀	銅	メダル合計
個人競技	陸上競技	16人	5個	8個	7個	20個
	水泳	4人	1個	1個	2個	4個
	卓球	3人	3個	—	—	3個
	フライングディスク	1人	—	—	—	—
	ホウリング	1人	—	1個	—	1個
	計	25人	9個	10個	9個	28個
団体競技	バスケットボール	2チーム 4人	—	—	—	—
	車椅子バスケットボール	1チーム 2人	—	—	—	—
	ソフトボール	1チーム 1人	—	—	—	—
	バレーボール	3チーム 5人	—	1個	—	1個
	サッカー	1チーム 5人	—	—	—	—
	フットベースボール	1チーム 12人	—	—	—	—
	計	9チーム 29人	—	1個	—	1個
合計		54人	9個	11個	9個	29個

## 【個人競技】

No.	競技名	競技種目	記録	順位	位	備考
1	陸上競技	800m	2分06秒42	2位	銀	
		1500m	4分33秒40	2位	銀	
		1500m	4分43秒46	2位	銀	
		800m	2分21秒97	4位		
		100m	13秒16	3位	銅	
		200m	26秒46	4位		
		50m	7秒08	5位		
		100m	13秒09	3位	銅	
		50m	7秒00	2位	銀	
		100m	12秒78	4位		
		100m	13秒16	4位		
		200m	26秒41	6位		
		800m	2分12秒76	3位	銅	
		1500m	4分29秒37	2位	銀	
		800m	2分04秒39	2位	銀	
		1500m	4分20秒11	1位	金	
		立幅跳	2m 69cm	2位	銀	
		100m	12秒38	1位	金	
		100m	13秒04	6位		
		200m	26秒80	6位		
		100m	12秒91	3位	銅	
		400m	58秒09	3位	銅	
		ソフトボール投	71m 02cm	3位	銅	
		50m	7秒32	5位		
		100m	44秒51	3位	銅	
		ソフトボール投	10m 16cm	1位	金	
		砲丸投	6m 51cm	1位	金	大会新記録
		立幅跳	1m 52cm	2位	銀	
		100m	16秒03	5位		
		ソフトボール投	33m 98cm	1位	金	
100m	15秒41	4位				
400m	1分21秒14	6位				
2	水泳	25m自由形	13秒76	5位		
		50m自由形	30秒20	3位	銅	
		50m自由形	27秒33	1位	金	
		50mバタフライ	30秒55	2位	銀	
		50m平泳ぎ	45秒15	4位		
		50m自由形	33秒74	7位		
		25m自由形	19秒77	4位		
		50m自由形	42秒74	6位		
		200mメドレーリレー	2分35秒83	3位	銅	
3	卓球	一般卓球	4点	1位	金	
		一般卓球	4点	1位	金	
		一般卓球	4点	1位	金	
4	フライングディスク	アキュラシー ディスリート・セブン	3投	7位		
		ディスタンス メンズ・スタンディング	44m 55cm	4位		
5	ボウリング	ボウリング	637	2位	銀	

## 【団体競技】

No.	競技名	競技種目	順位	位	備考
1	バスケットボール	バスケットボール男子	4位		
		バスケットボール女子	—		
2	車椅子バスケットボール	車椅子バスケットボール	—		
3	ソフトボール	ソフトボール	4位		
4	バレーボール	バレーボール男子 (聴覚)	4位		
		バレーボール男子 (知的)	2位	銀	
		バレーボール女子 (知的)	—		
5	サッカー	サッカー	—		
6	フットベースボール	フットベースボール	—		

## 協議事項

◆『教職員人材育成基本方針(案)』について協議された。

### 【概要】

#### 1 策定の背景

教職員には、時代を担う子どもたちを育てるという職務の重さを自覚し、常に自己研鑽に努めるとともに、さまざまな教育課題に向けて一人ひとりの教職員が資質能力に努めることが必要である。

このような中、教職員の養成・採用、評価、研修、人事制度等による体系的な人材育成システムの構築に向けた取組を推進している。

学校を取り巻く環境は今後も急速に変化することが予想され、経験豊かな教職員が大量に退職することから、これまで以上に、学校、市町教育委員会、県教育委員会が一体となって人材育成に取り組む必要がある。

#### 2 策定の趣旨

キャリアステージ（教職経験）ごとに求められる教員の役割や資質能力を培うために必要な取組の推進に向けた方針を示し、教職員人材育成基本方針を共有し、連携して、本県教育を担う人材を育成するための取組を積極的に推進する。

### 【質疑】

質問) いつ頃から退職者が多くなるのか。

回答) 校種により、退職者が多くなる年は異なるが、小学校が6年後、中学校がそれから少し遅れる。高校はさらに遅れ、全体で今後6年後から10年度にピークを迎える。

### 【主な意見】

- 教職員人材育成基本方針(案)において記載されていないような、教職員の資質能力を高める教育現場独自の特殊性のある人材育成の取組についても、評価できるよう配慮することが必要ではないか。